



データのバックアップおよび復元



(注) バックアップ サーバの設定は、初期設定のプロセスで行います。まだ行っていない場合は、「[バックアップパラメータの設定](#)」(P.9) を参照してください。

- 「[データのバックアップおよび復元について](#)」(P.35)
- 「[データのバックアップおよび復元に関する制約事項](#)」(P.35)
- 「[ファイルのバックアップ](#)」(P.36)
- 「[ファイルの復元](#)」(P.38)
- 「[関連項目](#)」(P.39)

データのバックアップおよび復元について

Cisco Unified SIP Proxy のバックアップ機能および復元機能は、FTP サーバを使用してデータの保存および取得を行います。バックアップ機能によって、ファイルは Cisco Unified SIP Proxy モジュールから FTP サーバにコピーされます。復元機能によって、ファイルは FTP サーバから Cisco Unified SIP Proxy アプリケーションにコピーされます。FTP サーバは、バックアップ機能および復元機能が IP アドレスまたはホスト名を使用して FTP サーバにアクセスできる限り、ネットワークの任意の場所に配置できます。

システム ファイルやアプリケーション ファイルに変更を加えた場合は、設定ファイルを常にバックアップすることを推奨します。コンフィギュレーション データを保持するためにバックアップを定期的に行ってください。

システムでは、次のタイプのバックアップがサポートされています。

- すべて：すべてのファイルおよびデータをバックアップします。
- 設定：システムおよびアプリケーションの設定だけをバックアップします。
- データ：ルートおよびアプリケーション データだけをバックアップします。

データのバックアップおよび復元に関する制約事項

- システムのバックアップおよび復元を行うときは、オフライン モードになっている必要があります。そのため、コールトラフィックに最も影響を与えないときにこれらのタスクを実行することを推奨します。オフライン モードでは、すべてのコールが終了します。
- Cisco Unified SIP Proxy では、次のバックアップおよび復元機能はサポートされていません。

- バックアップ操作および復元操作のスケジュール。バックアップおよび復元の手順は、適切なコマンドを入力したときに開始されます。
- メッセージ格納域の配置の一元化。Cisco Unified SIP Proxy バックアップ ファイルをその他のメッセージストアと併用または統合することはできません。
- 選択的なバックアップおよび復元。完全バックアップ機能と完全復元機能のみが使用できません。個々のメッセージやその他の特定のデータを格納または取得することはできません。

ファイルのバックアップ

- 「ファイルのバックアップについて」 (P.36)
- 「手順の概要」 (P.36)
- 「手順の詳細」 (P.37)
- 「例」 (P.37)

ファイルのバックアップについて

Cisco Unified SIP Proxy は、各バックアップにバックアップ ID を自動的に割り当てます。バックアップには 3 種類ありますが、システムでバックアップ ID が生成されるときにバックアップの種類は考慮されません。したがって、2 つのバックアップが、一方がコンフィギュレーション ファイルで、他方がデータ ファイルであるとしても、同じバックアップ ID を持つということはありません。

復元するファイルのバックアップ ID を判別するには、EXEC モードまたはオフライン モードで **show backup server** コマンドまたは **show backup history** コマンドを使用します。これらのコマンドによって、リモート バックアップ サーバにあるすべての使用可能なバックアップのコピーと、それぞれのバックアップ ID が表示されます。

手順の概要

1. **offline**
2. **backup category {all | configuration | data}**
3. **continue**
4. **show backup history**
5. **show backup server**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	offline 例: <pre>se-10-0-0-0# offline !!!WARNING!!!: Putting the system offline will terminate all active calls. Do you wish to continue[n]? : y</pre>	オフライン モードを開始します。すべてのコールが終了します。 (注) Cisco Unified SIP Proxy は引き続きオフライン モードでコールをルーティングします。
ステップ2	backup category {all configuration data} 例: <pre>se-10-0-0-0 (offline)# backup category all se-10-0-0-0 (offline)# backup category configuration se-10-0-0-0 (offline)# backup category data</pre>	バックアップして保存するデータのタイプを指定します。
ステップ3	continue 例: <pre>se-10-0-0-0 (offline)# continue</pre>	オフライン モードを終了し、システムを以前のオンライン モードに戻します。システムは、新しいコールおよびボイス メッセージの処理を開始します。
ステップ4	show backup history 例: <pre>se-10-0-0-0> show backup history</pre>	各バックアップ ファイル、そのバックアップ ID、ファイルに保存されているデータのタイプ、およびバックアップ手順の成否を表示します。
ステップ5	show backup server 例: <pre>se-10-0-0-0> show backup server</pre>	バックアップ サーバで使用できるバックアップ ファイルの一覧を表示します。ファイルはカテゴリ別にグループ化され、バックアップの日付とバックアップ ファイル ID がそれぞれ表示されます。

例

次の例では、**show backup history** コマンドおよび **show backup server** コマンドの出力を示します。

```
se-10-0-0-0> show backup history
```

```
blade522> show backup history
#Start Operation
Category: Configuration
Backup Server: ftp://192.168.1.35/pub/cusp_backup
Operation: Backup
Backupid: 1
Date: Tue Oct 21 06:14:30 EDT 2008
Result: Success
Reason:
#End Operation

#Start Operation
Category: Configuration
Backup Server: ftp://192.168.1.35/pub/cusp_backup
Operation: Restore
Backupid: 1
```

```

Restoreid: 1
Date: Tue Oct 21 06:17:21 EDT 2008
Result: Success
Reason:
#End Operation

```

```
se-10-0-0-0> show backup server
```

```

Category: Data
Details of last 5 backups
Backupid: 1
Date: Tue Jul 22 10:55:52 PDT 2008
Description:
Backupid: 2
Date: Tue Jul 29 18:06:33 PDT 2008
Description:
Backupid: 3
Date: Tue Jul 29 19:10:32 PDT 2008
Description:
Category: Configuration
Details of last 5 backups
Backupid: 1
Date: Tue Jul 22 10:55:48 PDT 2008
Description:
Backupid: 2
Date: Tue Jul 29 18:06:27 PDT 2008
Description:
Backupid: 3
Date: Tue Jul 29 19:10:29 PDT 2008
Description:

```

```
se-10-0-0-0>
```

ファイルの復元

- 「ファイルの復元について」 (P.38)
- 「手順の概要」 (P.38)
- 「手順の詳細」 (P.39)

ファイルの復元について

バックアップ ファイルを作成した後は、必要に応じてファイルを復元できます。復元はオフラインモードで行います。これによってすべてのコールが終了します。したがって、コールトラフィックに最も影響を与えないときにファイルを復元する必要があります。

復元するファイルのバックアップ ID を判別するには、EXEC モードまたはオフラインモードで **show backup server** コマンドまたは **show backup history** コマンドを使用します。

手順の概要

1. **show backup server**
2. **offline**
3. **restore id backup_ID category {all | configuration | data}**

4. show backup history
5. reload

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<pre>show backup server</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0> show backup server</pre>	データおよび設定のバックアップ ファイルを一覧表示します。復元するファイルのリビジョン番号は、バックアップ ID フィールドで確認します。
ステップ2	<pre>offline</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0# offline !!!WARNING!!!: Putting the system offline will terminate all active calls. Do you wish to continue[n]? : y</pre>	オフライン モードを開始します。すべてのコールが終了します。 (注) Cisco Unified SIP Proxy は引き続きオフライン モードでコールをルーティングします。
ステップ3	<pre>restore id backup_ID category {all configuration data}</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0 (offline)# restore id 22 category all</pre>	バックアップ ID の値と復元するファイルのタイプを指定します。
ステップ4	<pre>show backup history</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0> show backup history</pre>	バックアップおよび復元手順の成否とバックアップ ID を表示します。
ステップ5	<pre>reload</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0 (offline)# reload</pre>	アップロードされたファイル情報をアクティブにして、Cisco Unified SIP Proxy システムを再起動します。

関連項目

- 初期設定のプロセスで行うバックアップ サーバの設定については、「[バックアップ パラメータの設定](#)」(P.9) を参照してください。
- コンフィギュレーションのバックアップおよび復元に使用される CLI コマンドについては、『[CLI Command Reference for Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5](#)』を参照してください。

